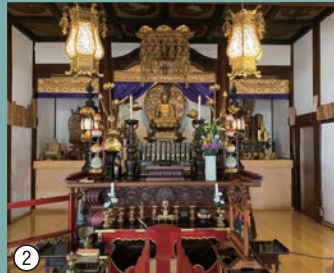


宗内寺院紹介 73

群馬教区西前橋部

西林山 浄土院 昌樂寺



- ①ご本尊阿弥陀三尊 ②内陣 ③外陣から ④鐘楼堂 本堂 書院(会館)
⑤旧入り口 ⑥現在正面入口

昌樂寺は数度の火災により全く記録を留めず。伝承を手記した本町郷土誌の一部を記すと左記の通りである。
 一説に伝教大師卓錫の地なりとも称す。又尊法印は中興の祖にして、弘安年中叡山より来りて再建すと(中略)
 本朝四十九代宝亀年間(七七五年)光仁天皇の始め船尾山西の平武男山に建立ありしが、足利俊綱の為に兵火の罹り
 三千百坊黒烟焦土となれり、仍て其の後に至り千葉之介昌樂寺を山王権現と共に上野国上野の里に再建す旧跡は最初
 今の鍛冶町村岡弥平の屋敷附近なりしが後に今の昌樂寺廻り村水車の近辺に移したるものなりと云ふ。俗称山王村を
 昌樂寺廻りと称するは是に基く。
 後慶長九年(一六〇四年)故ありて総社明神裏裏鳥分門中泉蔵院地内へ堂社を移転す。即ち現在の地なり、後寛永
 十年十月(一六三三年)徳川三代家光將軍より御朱印十四石を賜る。その後明治三十一年十二月十一日再び火災に罹り、
 本堂、庫裏、仁王門、鐘楼、土蔵、物置等皆悉く焼失せり。
 以上のように数回の焼失と移転を行つて現在の地に至る。
 末寺としては林倉寺・華王寺・常円寺・観音寺・東漸寺・石昌寺・梅昌寺の七カ寺。歴代住職は第一世珍尊法印か
 ら現在四十八世綾小路乘正(代四十二世から乗の一字を使用)。

群馬教区西前橋部

西林山 浄土院 昌樂寺

住 所 / 〒371-0846 前橋市元総社町2-31-25

電話番号 / 027-253-3960